

# 請 求 債 権 目 録

\_\_\_\_\_裁判所\_\_\_\_\_年(\_\_\_\_)第\_\_\_\_\_号事件の執行力のある

[判決・第\_\_\_\_回口頭弁論調書(判決)・少額訴訟判決・第\_\_\_\_回口頭弁論調書(少額訴訟判決)] 正本に表示された下記債権

## 記

1 元 本 金\_\_\_\_\_円

2 損害金

ただし、上記1に対する\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日から支払済みまで年\_\_\_\_%の割合による損害金

《取立等がある場合》

請 求 債 権 目 録

\_\_\_\_\_ 裁判所 \_\_\_\_\_ 年 ( \_\_\_\_\_ ) 第 \_\_\_\_\_ 号事件の執行力のある

[  判決・ 第 \_\_\_\_\_ 回口頭弁論調書 (判決) ・ 少額訴訟判決・ 第 \_\_\_\_\_ 回口頭弁論調書 (少額訴訟判決) ] 正本に表示された下記債権

記

下記1及び2の合計から、下記取立金等 (ただし、下記各事件の執行費用分を除く。) を控除した残金

1 元金 金 \_\_\_\_\_ 円

ただし、主文第1項に記載された金員

2 損害金

上記1に対する \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日から支払済みまで、年 \_\_\_\_\_ %の割合による損害金

- 申立人は、 \_\_\_\_\_ 裁判所 \_\_\_\_\_ 年 (ル) 第 \_\_\_\_\_ 号事件 (  及び \_\_\_\_\_ 事件<sup>1)</sup> ) にて、債務者につき合計金 \_\_\_\_\_ 円を取り立てた。
- 申立人は、 \_\_\_\_\_ 裁判所 \_\_\_\_\_ 年 (ル) 第 \_\_\_\_\_ 号事件 (  及び \_\_\_\_\_ 事件<sup>2)</sup> ) にて、債務者につき合計金 \_\_\_\_\_ 円の配当等を受けた。
- 申立人は、債務者から合計金 \_\_\_\_\_ 円の弁済を受けた。

1 複数の事件で取立てをした場合、全ての事件の事件番号を記載する。

2 複数の事件で配当等を受けた場合、全ての事件の事件番号を記載する。

◎ 該当する  に  又は  を記入する。